

ご隠居・伊能忠敬

第11回

郷土史研究会会員

二子石 三喜男

(草部出身 熊本市在住)

おわりに

昨年春からこの広報誌に連載してきました「ご隠居・伊能忠敬」も今月で最終回となりました。この拙文の掲載をご承認いただきました高森町役場と、広報誌づくりの関係者の皆様方にまずもって厚く御礼を申し上げます。また、熱心に読んでいただいた町民の皆様やこの連載に関し貴重な情報をご提供いただきました方々、さらに、実際の測量の道筋や宿泊した宿などの確認と関連資料発見等のため、高森、高千穂、山都の各町の教育委員会関係者の方々をはじめ、高森高等学校の文化祭において、忠敬の高森測量の史実等に関する公開授業をさせていただいた廣野校長先生や担任の先生方と生徒の皆さんなど、多くの方々にご協力を賜り有難うございました。この紙面をとおして厚く御礼を申し上げます。忠敬の高森測量のことは、阿蘇南郷の歴史研究家の方々が結成した「蘇南史談会」の会報に、以前会員向けに掲載されたこともあったそうですが、私は広く町民の方々に忠敬の高森測量の史実を知って頂くことで、当時高森と野尻の両手永の役人を務めておられた方の子孫の家などに埋もれている可能性のある関係資料の発掘を考え、役場のご承認を得て広報誌への連載をつづけてきました。連載を開始してからも残念ながらこの件に関する情報はまだ少ししかありませんが、今後も諦めずに調査をつづけ、郷土の歴史を一層深く掘り起こしたいと思っています。

最後に、現在の測量技術の一つであるGPSに関する情報をお届けしたいと思います。忠敬が歩いて全国を測量して200年後の現在では、米軍が開発した軍事技術を利用したGPS (Global Positioning System…全世界測位システム) が地球周回軌道に30機ほど配置され、この人工衛星が発信する電波を利用して、受信機の緯度、経度、高度などを数cmから数十cmの誤差で割り出すことが可能となっています。このシステムは1980年から民間利用されるようになり、車や人を誘導するカーナビや携帯電話の位置情報などにも利用されていて、最新の科学技術が私達の暮らしを大きく支えるとともに、様々な工事や建設に関する測量方法なども大きく変化させてきています。このGPSは日本全国の1300ヶ所の30キロ四方に1ヶ所ずつ、震災地域などには10キロ四方に1ヶ所ずつ設置され、地震や火山活動などによる国土の微妙な動きを鋭く監視し、熊本県では熊本市の九州測量専門学校の校庭などにも設置され国土の動きなどを観測しています。

私達の歴史上に今から200年前実在し、測量家として活躍した偉人、伊能忠敬の人物像や高森での測量活動などについての連載は、今回をもって終了とさせていただきます。ありがとうございました。

終

参照の記録や史(資)料

- 伊能忠敬測量日記
- 高森町史
- 旧蘇陽町史
- 高千穂町史
- 大谷亮吉編著 「伊能忠敬」
- 城後尚年編 「伊能忠敬の九州測量」
- 佐久間達夫著 「新説 伊能忠敬」
- 渡辺一郎著 「伊能忠敬測量隊」
- 菊池市に伝わる嶋屋日記
- 高千穂タイムズ記事
- 井上やすし著小説 「四千万歩の男」 など



▲源空寺(東京上野)の忠敬のお墓に参拝する筆者

○写真ネガ借用

- 伊能忠敬記念館(伊能忠敬肖像、測量器具写真)
- 永青文庫(熊本大学図書館蔵 貞享年間高森町並み絵図)
- inoPediaを作る会(国宝伊能忠敬日記の原文DVD)
- 伊能忠敬の高森町内測量経路図(作図)元草部中学校教師 怒留湯 誓氏

○取材先

- 千葉県(伊能忠敬記念館)、東京(富岡八幡宮、源空寺)、長崎県(平戸歴史博物館)、天草市(上田家資料館)、熊本市(九州測量専門学校)など